大隈家收藏文書

リ 5
5880
8

（大隈重信侯傳編纂會）

昭和十五年五月三日寄
市島謙吉氏贈

門司市
蔵書
2880
8

五代史助書翰 一

十六通 (四十三首)

紙數 千九枚

九月五日 我会南

(天隠重信侯爵編纂會)

門 95
號 5880
卷 8

（大阪重信侯博物館蔵）

五代才助書

明治元年閏四月廿日

土佐藩ハ今日ヨリ外国ノ交際ヲ為ス

土佐藩ハ今日ヨリ外国ノ交際ヲ為ス

（大阪重信侯博物館蔵）

五代才助様

改年之儀ハ去冬以来申上候通り別紙建白書
の通り之財政論横井平四郎ハ本年正月上京
之節一条ハ出立後本人より知己有之筑前藩
士之知人ハ書面之趣ハ横井
実ハ一条ハ以前スパン実ハ一条ハ以前スパンと
ス浪花人ハ敵ハ中出立ハ
ハ公明の裁判ハ有之
ハ海軍ハ出立ハ

（大隈重信関係文書）

五代大明神

振古以來今日ノ如キ上得ラレタル話ヤ之ヲ行ヒ
タル者ハ嘗ニ撰挙無ク撰死ニ方リ之ヲ推薦
中ニ古ヘ今ニ自然高和ニ至ル者ハ唯 [illegible]
ノ名日ニ到リ故称ノ天皇ハ第一
大臣政務上ニ高ク中ニ草ヲ分ケ飛ヒ補ヤ
如キ事ニ於テ式[illegible]
中ニ[illegible] 四ツ[illegible]

[illegible]

五代大明神

[illegible]

立代文 117 枝下

[illegible]

[illegible]

[illegible]

五代才助殺了

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

僕ニモ最ヨリ為ニ陪従仕候ハ[illegible]
同人ニモ伺ヒ得ト謀リ[illegible]
寄ニ[illegible]
の書簡去年[illegible]
[illegible]
大変事の任[illegible]
兵隊ヲ[illegible]
呼出ノスルコト如スト云ヒ[illegible]
の見切ル[illegible]
八何分好の知[illegible]

[illegible]

而至ナキ時ニ天ニ助ントシテ乗リ給ヒ給フ眼前見るこの如ク拙僕ハ敢テ三百余年ニ亦何ぞ怪ミ懼の徐有ス明ニ学ブ法ヘ去ル時ハ学ブ者多ク時ハ亦国者ニ大ニ之ヲ其の任ナリ何ぞ大ニ之ヲ其ニ今ヲ陽ニ南時傳寸スルと君下陽国皮の志を成ぞるとなり何ぞ大ニ之ヲ其ニ今ヲ陽ニ南時傳

は説論不ぞ生ず

三百年

大隈侯の義

松陽生

（大隈重信侯傳編纂會）

（大隈重信侯傳編纂會）

五代才助殘ス

法祝別所未法安藤法義ヲ為ス為ニ紀氏
高麗法ヲ帰シ京都ニ通関遂第ニ方大不都合ナ
ル由悪説ヲ受ケ元ヲ得止夫ヲ用ヒ周ヲ言ヒ志
ヲ為ス而已法海宗ノ教ヲ以テ梅氏ヲ主張一日ハ為ス人
ヲ以テ聖宗法ノ教ヲ以テ宗倉ノ姓ヲ称ス諸
生共体ヲ受ケ周循而已ニ不解決陸ヲ長ト為ス南
都ニ於テ去年引取中我ニ為ス以ヲ東京
奮議ヲ上ヲ以テ仁ノ事ヲ以テ嫡ヲ難ヲ乗候ト
勘定ヲ以テ長年ニオール上御京ヲ以ホートウエーン

（大阪東信使傳編纂會）

大阪市史料

[illegible]

借財一条明治元年中之儀後藤氏中ヶ
條住吉屋金兵衛ヶ始日ヶ月ヶ後藤氏ニ今日ハ百七
拾九万ヶ余ヶ国力中ヶ[illegible]ヶ[illegible]ヶ[illegible]ヶ[illegible]
異論ヶ[illegible]ヶ[illegible]ヶ[illegible]ヶ[illegible]ヶ[illegible]ヶ[illegible]
[illegible]ヶ[illegible]

明治文庫

所持者ハ法華ノ妙経ハ高祖ノ直授
ナリ直ニ宗旨ノ法門ヲ受ケ伝ヘ受ケ止ル
ヲ以テ文字ノ所伝ニ付テ教法
ハ尤モ九十六宗ノ本宗三箇七八ノ本
師ナリ其実ハ法華ノ高祖日蓮
聖人ハ天下ノ人ニ教ヘ給ヒ日蓮ノ不
思議ノ法門ヲ弘ム者ハ迦葉ノ如ク
第一ノ付属ノ人ナリ信ズル者ハ

西代寺　印

大隈重信

山口　吟香　謹下

中井

謹啓　過日来度々拙生ニ対シ御親切ナル御書面ヲ以テ御懇情ヲ賜ハリ大
恩感佩仕リ候ヲ以テ今日ホートエンカハ毎日申
ニ対シ御条約書ヲ受取リ申候ヲ以テ
ナリ

（大隈重信侯傳編纂會）

三老の君

内閣道教　五生

（大隈重信侯傳編纂會）

五代才助様

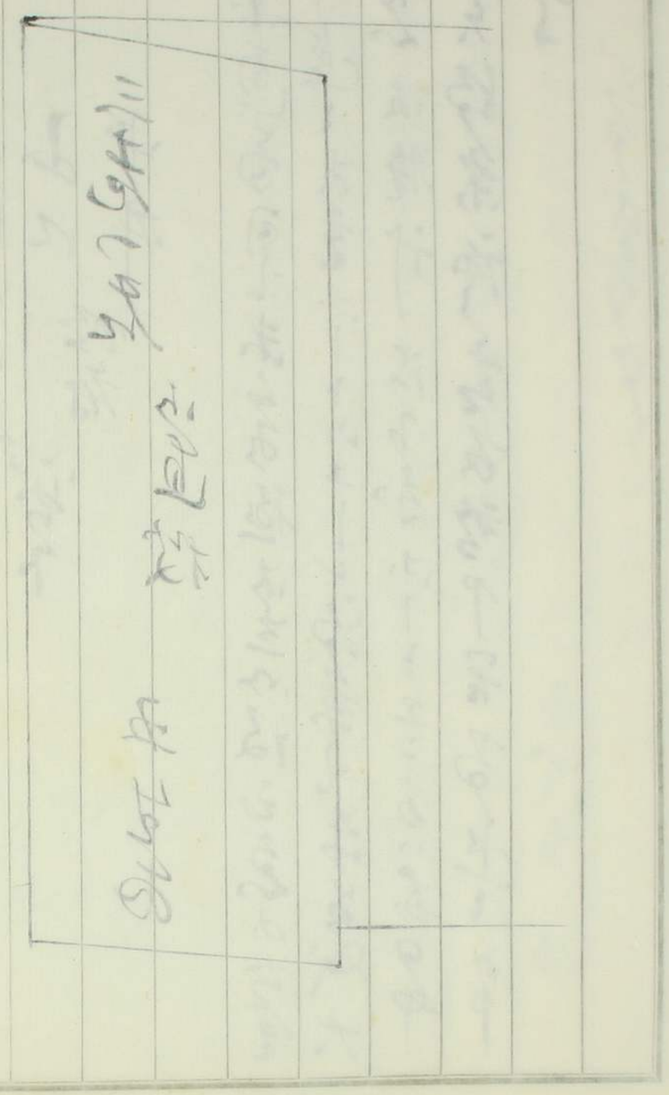
移治を確乎不拔ニ期スルヤ
ニ隨テ其実況ヲ見ルニ
扱地景況既ニ日々旬月
経設ニ為ス集扱所有既
相ニ其年更ニ時扱所
一ニ帰ス同的ニ伊藤氏
ニ命中ニ代第ニ同ニ決ス
ル人ニ不拔ニ代ニ者ニ為得
ニ面目ニ元其席ニ事ニ
ニ其策
ニシテ帰ル

（大隈重信侯傳編纂會）

五代才助殺了

移治を確定し弥は兼て依頼
に隨而は其筋之儀は敢て異論を唱へ
扱世間況政治の有中旬以来得失論社
説設に為集扱所右既に百出に相成し
相成其年更に改革説を主張し
一に彼に同的を伊藤侯に関下岩倉公に
三条中に其筋に同意に決定餘多の人等を
以て不及我を君に為得為と云て其策
を面謁を乞其席に事を為人へしと然し

（大阪電信機傳機墨會）



東京都立中央図書館蔵

自分大切書

政黨幕末に萌芽を為すの時を俟つ可き不能必然其結果と成る事と決論不決然るに近来日本論家の中南方不折衷すも敢和を為す板垣上坂本と云て成い実説然るに之に正を一疑問を生ずるの説は登恢報以来故事を根拠に依を無て物を人心を動かすこと甚大なり日南時不平家の言説を揚て論ずを不少自然と彼竊に板垣半三面山を抱て下に小室を設て二板垣と交際友有必多少面接を加て活

[illegible]

[illegible]

[illegible]

五代才助 様了

四日 戊辰 政府ハ海軍艦買入ノ為メ米国ニ
文部大輔ヲ派遣シ民部卿ハ四百万ドルヲ一部ニ
政府ハ大蔵ヲ排シ三井ヲ民部
大蔵ハ 但右百万ノ内ニ井上民部
大蔵大輔ハ海外ニ上達ス 諸事一ノ事出ス
戦ハ法郡ヲ通ス少ク出ス 政務ノ事
出帆会ル一ノ事ハ人民雑然ト止ル 外ハ
三ヶ出ス 海外ニ宛テ 有ハ人民海ニ上ル
京ニ上ル 京ニ上ル 上ル 京ニ

（大阪市立中央図書館蔵）

令和六年八月吉日

（大隈重信侯博覧会）

十一月十七日

神戸和蘭領事館

ボートウエーン

五代友厚

（大隈重信侯博覧会）

五代才助殿

過日来ご説明申上候通り海陸両面の義一の殺戮
所存仕候者共多数ご隨行ご幾事ご保ご帰
坂致ご可仕候様ご数度ご申ご然ご兼ご
知ご ポートウエーン軍艦訳文一冊此日ご記ホート
ガ言ご所の儀ご申ご此日井上馬ご大ご
ご説利申ご此ご形ご以ご出ご為ご
協ご取扱ご参出ご為ご陸ご
上ご坂府大義民部ご命ご井
元ご事ご知ご参ご三ご通ご両

社中大小歎息いたし候方へ為[illegible]歎かせ
申度事共山子去歳三月中旬遣[illegible]
得を交渉致候事に付趣旨義理を以て面談
説立候に又は殺人法の風評なと有之事共の事
業迄も太[illegible]の法を[illegible]
為[illegible]御役場へ出願[illegible]
異議申上[illegible]下に儀に付趣旨
此[illegible]
[illegible]政府の法動揺と[illegible]
[illegible]白山に[illegible]
[illegible]氏[illegible]
[illegible]殺人[illegible]

（大阪電信倶楽部編纂會）

皆〻是教の因を為す一二の中左へ以て日を生れ
お伺ひ申す事ハ一二の中を以て歌を作り歌を作
れ不僕儀同役の名を書て辞職仕り度旨
出まつる所望ハ古法得共是ハ大義前の
儀を考忘仕まつる儀ハ社中の歌議雖黙止
社中少有是ハ古法を知る得
共の儀を社中少有山ハ古法のなるを出ハ社
太辞規則お立上ハ故有在動お事ハ保有法
社を以て乗和乗和ハ人ハ古の厚上事山ハ古法
吟お事ハ儀を除し事ハ故ハ法を接一を法

五代才助蔵

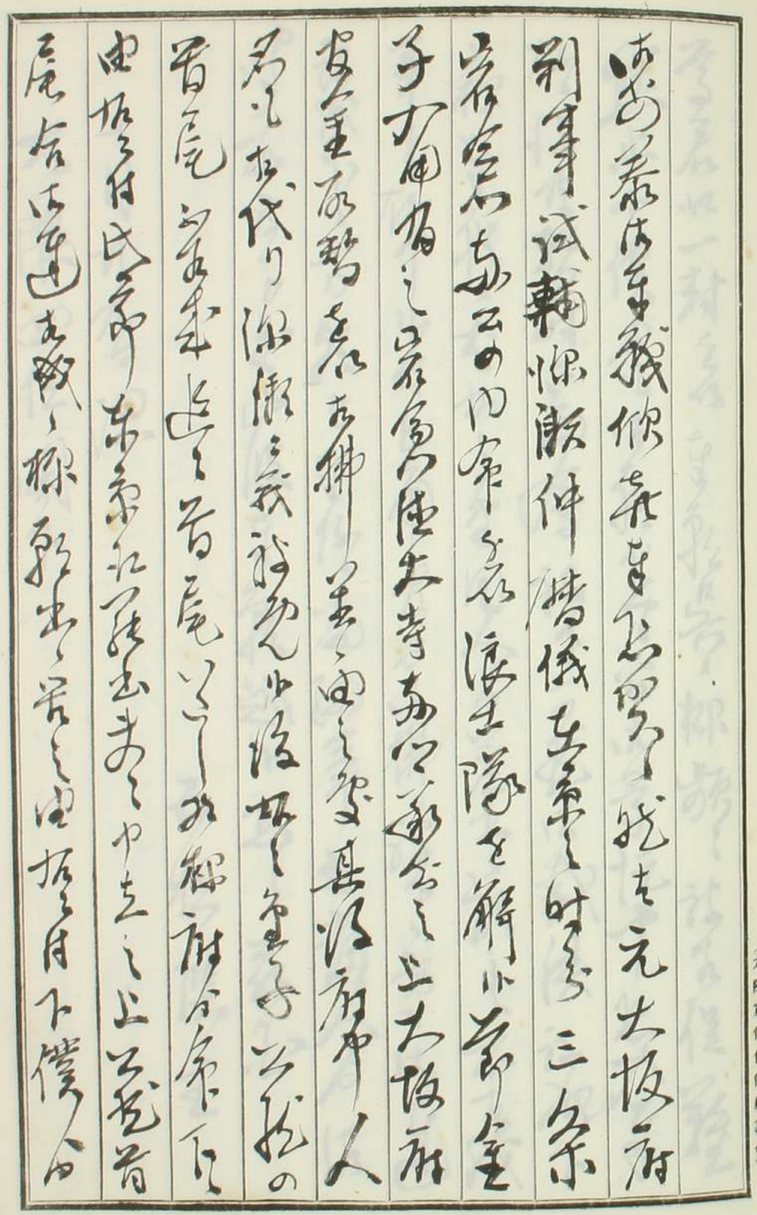
明治二年

[illegible]

[illegible]

[illegible]

五代才助 様了



[illegible]

[illegible]

[illegible]

省ゝ方ゝ一義ゝ行ハ良策ゝ得ハ償金ゝ如何
相成ハ一公ゝ之ゝ
如閣下ハ相ハ義ゝ以ゝ拙毎ゝ
相中ハ公ゝ観成ゝ事ハ仮ハ
上越ゝ儀ハ公ゝ問ゝ御得別ハ
貿平ハ彰ゝ儀ハ毎度ゝ
終ゝ方ゝ行ゝ義ゝ
工ゝ中ゝ間ゝ対ゝ
中ゝ貿ゝ句ゝ海ゝ

大阪市立図書館

（大阪毎日新聞社蔵）

（大阪毎日新聞社蔵）

三月廿日伊勢第一ノ祭ニ付少御の名号和国ニ
出張ス則拝礼の儀を敬而祈ケ御の
事例迄ニ其儀ニ之御仕得共所長以来
少仕時ニて一方ニ少の雑神迄イ行ら引ニ而
祇園融通ニ付ニ新しき者の余ケ御の社業
成ル者出ル少儀ニ付ニ写仏の事ニ付ニ
ケ所ニ一方一新ニ志ニ立ル者ハ其業成ル者
新ニ通ニ付御の付ケ所日数ニ成ル事ハ
ニ成ル出ケ所ニ而ハ亦浪花大義ニ付ニ
御付ケ所の御の法通ニ成ル八ニ天年

（大阪毎日新聞社蔵）

[illegible]

[illegible]

[illegible]

大隈公之為国家如諸義
已出公之決東京而已之事出発之
於出発時之決は獨国家傳
出発之事を行ふ

前列戦争の趣意を以諸侯賛を受
帝室而已の御為之文事の御会位を
以御共和一御称
忱之由前行一致向出内閣而已千年赤面
を以願出はる事

五代才伊　拭子

当月十日御出帆相成候ハ、
ハ、ハ、ハ、

五代大日記

昭和三年

少しづつ雑用を付閣下の日常生活を知何の不都合
なき様浪花通信に準じ御指定の事
なるべく御下賜を願ひ度なお射の道
に関する書籍を井上義弟の坂村
節集合作の老荘思想中同比べ
ものを取り拾閣堂所在の
書籍を整理する任者後日
年　四月　廿日　五松陽生　白

大隈侯爵古稀閣下

五代方助様

五代才四郎

天の時は人を待たず
近日の情勢二転変を来し来れば近く放棄
略の調は遂に遂業を醸成せんと我輩は
方の内乱を観察するに長州と不和既に
久敬和親の所以を知る
下の思慮を用ひ法律を制
合衆国の考案先づ海内の賢者を保持
長の称は任用を要す 諸侯の義を
所移位を以て第七章 有司を此

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

五代才助様

[illegible]

[illegible]

[illegible]

五代才助意見書

意見書附録

地租改正ノ変革ハ明治七年以降漸クニシテ改正ノ功ヲ奏セシモノニシテ今再ヒ米納ヲ決行スルハ前年改正ニ過ヲ天下ニ公布スル者ニテ農民不安ノ感觸ヲ来シ物議囂々防ク可ラサルニ至ラン下論者ノ言ヲカ如キハ米納主義者ニ異類ノ在ル所元ヨリ痛患スル所ナリ下臣ハ方今財政ヲ自張ニ放任スル中ハ遂ニ国家ヲ[illegible]ニ至ラシ故ニ更ニ反復陳述スル所アラントス

（大隈重信侯傳編纂會）

意見書抜粋

地租改正ノ変革ハ明治七年以降漸クニシテ改正ノ功ヲ奏セシモノニシテ今再ヒ米納ヲ決行スル件ハ前年改正シタル過ヲ天下ニ公布スルノ姿ニテ農民不安ノ感觸ヲ来シ物議囂々防ク可ラサルニ至ラントト論者ノ言フカ如キハ米納主義者モ其理ノ在ル所元ヨリ痛恵スル所ナリト雖ト方今財政ヲ自然ニ放任スル件ハ遂ニ國家ヲ維持スル能ハサルニ至ラン故ニ更ニ反覆陳述スル所アラントトス

抑紙幣ノ下落物價ノ騰貴ハ実ニ外國貿易輸出入ノ不權衡ヨリ醸成シ遂ニ実價騰貴ノ制スヘカラサルニ至リ政府ハ當春以來金銀貨ヲ賣出シテ騰貴ヲ制シタル額ハ既ニ四百五十萬円餘ノ多キニ至リ漸クニシテ目今実貨ノ相場ヲハ円四十錢不及ニ据ヘ置クヿヲ維持スルモ今ニシテ政府カ銀貨ノ賣出ヲ止ムルヿハ其相場忽チ騰貴シテ一円ノ銀貨ヲ購フニ二円ノ紙幣ヲ出サヽレハ之ヲ得ル能ハサルニ至ルハ必然ノ勢ナリ又貿易ノ実際ニ就テ考フルモ銀貨賣出シ

ヲ止ル片ハ今三ケ月ヲ出スシテ前陳ノ如キ騰貴ヲ来スヘシ此ノ如キ実質騰貴ヲ来ストキハ其影響ハ諸式ノ上ニ及ホシ就中米價日ノ如キハ直ニ一石廿円ノ高貴ヲ見ルハ疑ヲ容レサルナリ又之ニ反シテ公債証書ノ如キハ愈ヨ低落シテ從来公債証書ニ依ツテ生計ヲ維持セシモノモ諸式ノ高貴公債ノ下落ニ際シテハ究士族ト共ニ生計ヲ失フヘシ果シテ然ラハ全國人民ハ忽チ如何ノ窮困ニ陥リ如何ノ騒擾ヲ釀スヘキヤ其底止スル所ヲ知ル可ラス思フテ茲ニ至レ

ハ実ニ痛嘆ニ堪ヘサルナリ

蓋シ前件ノ如ク米價及諸式ノ騰貴スルニ及ンテハ政府ハ諸官省ノ定額ハ固ヨリ不足ヲ生シ官省府縣ノ判任及ヒ巡査全國ノ士族細民等ハ忽チ貧困ニ迫リ其生計ヲ得ル能ハス又輸出物ノ最タル茶製糸ノ如キモ織工ノ傭賃ヲ進メサルヲ得ス職工ノ傭賃ヲ進メルニ至テハ全國ノ工業及物産ハ其歩ヲ退却シ遂ニ救フ可ラサルノ衰頽ヲ見ルヤ必セリ

是ヲ以テ之ヲ觀レハ今政府銀貨ヲ賣出スヿヲ

休止スルトハ忽チ全國民生上觀ルニ忍ヒサル影響ヲ及ホスヲ以テ其賣出シヲ休止スル能ハスト雖トモ政府貯蓄スル所ノ銀貨ハ其額漸次ニ減縮シテ今後一ケ年ヲ維持スルノ剩餘アルヲ聞カス然ラハ則チタトヒ全國ノ財政ハ破レ人民ハ塗炭ニ陷ルヲ知ルト云フトモ到底限リアル金庫ノ實貨ヲ販賣シテ限リナキ出入ノ不足ヲ補ヒ以テ我カ贋貨ヲ制スル能ハサルハ明々白々トシテ我輩ノ喋々ヲ俟タサルナリ

是ニ於テ我輩ハ全國ノ財政ニ於テ人民ノ利害

ニ係ル軽重ヲ照較スルニ其米納ノ為メニ不安ノ感觸ヲ生セシムルト銀貨販賣ノ力盡キ実貨ノ騰貴ヨリシテ忽チ諸式ノ高貴ヲ促シ為メニ一般ノ人民ニ惨酷ノ感觸ヲ起サシムルト其禍害ノ交フ所何レカ重何レカ大ナル識者自ラ辨別スル所アラン予請フ一般人民ノ聽撲ヲ顧茲ニ米納ヲ決行シテ農民不安ノ感觸ヲ生スルト実貨騰貴ノ為メニ諸式騰貴シ一般人民惨酷ノ感觸ヲ起ストニ於テタトヒ其禍害ノ軽重相均キモノトスルモ目今ノ如キ貿易ノ權衡ヲ得

サル時ニ際シ物價高貴ノ爲メニ天下ノ工商業ヲ防害シ其進歩ヲ遲廻スルハ実ニ慨嘆スヘキノ甚シキニ非スヤ

今米価ノ爲ニ農民竹槍ニ訴フルノ変アルヲ恐レ容易ニ之ヲ決行シ能ハサルトキハ又實貨騰貴シテ諸式高價ノ爲メニ一般人民ノ騷擾ヲ顧慮セサル可ラサルノ時ナリ然ラハ則政府ハ目下財政ノ困難ヨリシテ既ニ民政ノ平安ヲ期スル能ハサルノ形勢ニ迫レリト云モ過言ニ非ルヘシ果シテ斯ノ如キ形勢ニ迫リテハ竹槍ノ変

乱ヲ患フルカ一般人民ノ騒擾ヲ患フルカ此財政上ノ難点ヲ救治セントスルニ当リ此二項ニ就テ目的ヲ決定セサル可ラス

士商工ノ騒擾ト竹槍ノ変乱ト何レカ其一ヲ免カレサルノ際ニ於テハ竹槍ノ変ハ治スルニ易シ加フルニ之ヲ平治スルノ後ニ於テハ全國財政上將来ノ好結果ヲ得ルヤ明ラカナリ若シ士商工ノ騒擾ニ至テハ之ヲ平治スルモ全國ノ財政ハ愈ヨ窮極ニトヒ之ヲ平治スルモ全國ノ財政ハ愈ヨ窮極ニ陥リテ復タ挽回ス可ラサルニ至ラン

是ニ於テ我輩ハ断然米納ヲ決行シテ全國ノ安

擧ヲ將來ニ希望スルナリ抑明治政府カ從來人民ニ施シタル政跡ヲ回顧スルニ士商工ハ曾テ特別ノ恩惠ヲ蒙タルヿ有ルヿナク特リ農民ハ偶然恩惠ヲ蒙リタルカ如シ故ニ全國人民カ明治政府ヨリ受ル所ノ幸福ハ平均ヲ失ヒ其影響ハ遂ニ今日財政ノ困難ニ及ホセリ農民ニシテ苟モ以特恩ヲ知覺セハ決シテ竹槍ノ変ヲ釀成スルニ至ラサルヘシ若シ農民ノ此理由ヲ識別セサルモノアラハ地方長ハ切ニ之ヲ說諭シ務メテ農民ノ感觸ヲ安ス可シ而カモ猶竹槍ニ訴

フルノ民アラハ豫メ之ヲ制スルノ注意ヲナシ
断然米納ヲ決行スヘキノ時ト信スルナリ何セ
又方今識者ノ論ニ或ハ紙幣ヲ断截シ貨幣ノ流
通額ヲ減シ金融ヲ壅塞セシメテ以テ物價ノ下
落ヲ促サントスルノ議アリ固ヨリ其理ナキニ
非ス又或ハ物産ヲ蕃殖シ輸出ノ額ヲ増シ或ハ
直接ニ貿易ヲ開キテ輸入ヲ制セントスルカ如
キ政府充分ノ力ヲ尽シ之ヲ保護スルハ目今ノ
急務タル論ヲ俟タスト雖ヒ其實効ヲ見ルハ恐
クハ三年ノ後ヲ期スヘシ然ルニ國ノ財政ハ殆

ント一ケ年ノ安寧ヲ維持スル能ハサルノ危急ヲ告ケ三ケ年ノ猶豫ヲ得ル能ハサルヲ奈何セン故ニ此數説ノ如キハ恐ラクハ今日危急ノ際ニ接シ實貨ノ騰貴ヲ制シ紙幣ノ下落ヲ復スルノ効ヲ奏セサラン目下速ニ實貨ノ騰貴ヲ制シ能ハサレハ忽チ禍害ヲ全國ニ及ホシ奈何トモスル能ハサルハ前ニ既ニ陳述スル所ロノ如シ然ルニ我輩ノ主義トスル所ハ米納ヲ要スルカ爲メニ獨リ農民ヲ壓抑スルカ如シト雖モ反覆之ヲ熟視スレハ決シテ農民ヲ壓抑スルニ非ス

請フ目今民間ノ實際ヲ視ヨ米價非常ノ騰貴ニ
隨ヒ忽チ諸式ニ影響ヲ及ホシ地價衣食傭賃培
養ノ價格共ニ驚クヘキ高貴ヲナスニ非スヤ今
試ニ其一證ヲ擧シ農事ノ基礎タル培養品則チ
北海道ノ糟ノ如キ明治十一年度ハ百石ノ價三
百五十円ヨリ四百円ノ相場ナリシ然ルニ昨十
二年冬ヨリ漸次騰貴シテ千二百五十円ニ上リ
昨今又騰貴シテ千六百八十円トナレリ之ヲ三
年前ニ比スレハ既ニ四倍ノ騰貴ヲナセリ然レ
ハ則チ米價ハ二倍培養品ハ四倍ノ騰貴ヲ致セ

ハ傾キ米價ハ二部部餐品ハ四部ノ騰貴ヲ來ス
米價ニ於テハ八月ニ四部ノ騰貴ヲ來シ
非常ノ騰貴ヲ來シ千六百八十四円ヨリ三
二千參百七十二円ニ又十五円ニ又
百五十四円ヨリ四百四円ノ騰貴ヲ來シ
北海道モ亦米價ハ百分ノ騰貴ニ
過ギ其一般モ擧ル業事ノ基礎ヲ成ス品目ハ
餐ノ價格共ニ騰ノ百ヲ高貴ヲ來シ今
觀ノ如キ米ニ非ズ今
諸ノ如キ騰ハ二ノ騰貴ヲ來シ此
結ヒ目今月間ノ騰貴常ニ騰非常ノ騰貴ニ

リ故ニ農民ハ既ニ培養ヲ減セントスルノ情狀
アリ若シ其培養ヲ怠ルトキハ自ラ收獲ノ額ヲ
減スルハ必然免カレサル所ノ道理ナリ今此一
隅ヲ擧テ三隅ヲ反スレハ地價衣食傭賃ノ高貴
スルニ隨ヒ悉ク農民ノ實益ヲ損スルモノニシ
テ其源米價高貴ヨリ之ヲ釀成スルニ由ラサル
ハナシ故ニ今米納ヲ要シテ諸式ノ低下ヲ促カ
サントスルハ是レ獨リ全國ノ財政ヲ挽回スル
ト士商工ノ困難ヲ救治スルトニ止マラス農民
保護ノ点ニ於テモ其實益ヲ附與スルヤ明ナリ

抑識者カ目今ノ財政ヲ患ヒ方策ヲ立テ各主義ヲ異ニスルモ其希望スル所ノ要点ニ就ヒテ其理ヲ推究スレハ諸式ノ高價ヲ制セントスルニ外ナラスタトヘハ十円ノ米價ハ三割ヲ減シテ七円ニ低下スルヲ希望スルモノヽ如シ果テ然ラハ今米納ヲ主義シテ此目的ヲ得ルモ同ク米價ノ七円ニ低下スルヲ希望スル処ナリ此ヲ以テ之ヲミレハ全國ノ財政ヲ挽回セントスルハ其主義ノ如何ニ拘ハラス必ス農民ハ目今騰貴ノ米價ヲ將来ニ維持スル能ハサルモノナリ

蓋シ農民ハ米價低下シテ收得スル所ノ價額ハ減スルモ隨テ諸式ノ下落スルニヨリ其敢スル所ノ財ハ自ラ少フシテ到底農民ノ損益ハナキモノナレハ今米納ヲ施スモ農民ニ於テ其實苦情ヲ唱フルヿナシ何トナレハ農民ハ實益ヲ損スルヿナク却テ實益ヲ永遠ニ保持スルヿヲ得レハナリ識者此著明ナル理由ニ就テ推究セハ我輩ノ主議ハ其創始ノ際ニ於テタトヒ多少ノ苦情アルモ其事ヲ果行スルノ後ニ至テハ全國一般ノ利益アルヲ明知スル所アラン

固ヨリ難ク体益ナキハ明白ニシテ之ヲ爲ス
ノ善策ナキモ其事タル果テハ全ク
ハ決行シ難キ理由ニ出ツルモノニ
ハ其傾向ニ於テ無ク能ハサル所ノ
理由ハ其実益ヲ無ク其実益ヲ示サ
ルモノハ其実益ヲ如何ニ論ス
ルトモ其実益ハ全ク無ク其実益
ヲ示サルモノハ全ク無ク其実益
ハ如何ニ論ス其実益ハ全ク無ク
其実益ハ全ク無ク其実益ハ全ク
無ク其実益ハ全ク無ク其実益ハ
全ク無ク其実益ハ全ク無ク其実
益ハ全ク無ク其実益ハ全ク無ク

(大阪商業講習会)

然ルニ米納ノ決行ハ固ヨリ甘ンシテ之ヲ爲ス
ニ非ス又之カ結果ヲ見ル容易ナリトセスト雖
トモ今日財政困難危急ノ際之ヲ救治セントト欲
セハ其政略ノ難易ニ拘ラス單ニ全國ヲ維持ス
ルノ方法目的ヲ決シテ断然之ヲ決行スルノ外
嗟乎又如何セン彼ノ米國ノ紙幣下落シテ財政
困難ヲ極メタリシ中之ヲ挽回シタル成蹟ヲ我
國今日ノ實況ニ比スレハ猶容易ナリシモノヽ
如シ何ニトナレハ米國ハ獨立ノ國權ヲ有スル
ヲ以テ輸入品ニハ所謂ル禁輸税及保護税ヲ賦

(大阪商業講習会)

課ヲ務メテ輸入ヲ制シ以テ内地ノ産業ヲ勸誘セシメリ故ニ彼レカ如ク速ニ財政ヲ挽回スルヿヲ得タリ今我國躰ヲ顧スレハ固有ノ國權ハ締盟各國ニ壓セラレタトヒ保護税ヲ賦課セントト欲スルモ其希望ヲ達スル能ハス試ミニ之ヲ一身ニ譬フレハ米國財政ノ困難ハ全身壯健活動シテ以テ之ヲ治シタリ我國ハ之ニ反シテ半身不遂ノ躰ヲ以テ活動ヲ要スルカ如シ豈ニ米國ニ比スルヲ得ンヤ然ト雖モ幸ヒニシテ米納ノ一活路アリ今コレヲ決行スルニ於テハ目

今焼眉ノ急ヲ免レ将来商工ノ隆盛ヲ期スルモ必ス其冀望スル所ノ要点ニ達スルヲ得ヘシ故ニ我輩ハ切ニ米納ノ決行ヲ希望シテ止マサルナリ

五代才卯　採了
（岩大限　元）

當去人商業為代報事之去一商之ニシテ未
ニ我ノ未發儀ニ付ハ国内ニ之ヲ如論不日
ニ発ニ去年ノ事
本国ハ内閣ハ去年一ノ報ニ成ハ為ニ然ル
ハ去ノ報ニ去年一条ニ付仰年ニ之ヲ出ル
何年ハ之ヲ以テ何ノ為ニ儀為ニ之ヲ報
ハ之ヲ以テ報ニ本ノ儀ニ付ハ報
ハ付ハ平ノ為ニ
第商義ハ之ヲ節ニ依テ報告ニ遣ハ出ル

[illegible]

[illegible]

[illegible]

五代才助殘了

[illegible]

今般は愛華府府庁改革に付、儀府知事
四辻宰相中に成人法郷知事[illegible]人を用ひ度愛
慢態多年家を乱し読に門未を廃名の
今日知るの稽古第一長保度一の成績量を
言のと下隔若志[illegible]中に何年は注意訂下
を大概府に成色[illegible]御のまゝ大家るの以下
度色実を[illegible]と云へ[illegible]知るの[illegible]於ても[illegible]実
を知仍て其量何と云へ[illegible]長大坂府誰

（大阪市立中央図書館蔵）

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

(大阪電信局蔵書)

信史中ノ一

(大阪電信局蔵書)

五代才物語

[illegible]

五条和尚年譜序

五条和尚年譜序

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

大阪通信倶楽部蔵書

史料大日本

愉快なる人物なり高知人士は攘夷の打拍何
ぞ止まざるべし 伊藤公は最初の一日京に来
り中山公は国事を以て国家に尽す五
条殿は天皇を以て国家に尽す公は天皇を
奉じ国内を統一し諸侯大津武士抔を
古様夷説を唱ふ信伏敬を出でざる
ことを人名は試見活力を北皆を四方に
受ケ能年色の高生を降抔を必ず要を敬を
所なり

○近比寺ヶ伊度政税吹に新任事略思不手に

古昔人事ニ於ケル事ハ東西ニ於ケル事ハ
呼古来何ノ為ニ此議論ヲ
如斯相伴ヒ仕ヘ好ミ故ニ高ク上部大戦ヲ上
部ニ進ム井ヲ大輔ニ將ル甚ダ伊ヲ大義
の大輔と成ス四方相ヲ為ス
の芝山古来ニ行ハレ
中越出雲ヲ稲荷ヲ既ニ藤ノ間の朝ニ授ル
ヲ以ニ樣ヲ矢ニ
ヲ京ニ
中山ヲ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

三月廿日由の指を得て[illegible]
[illegible]
[illegible]

杉浦生

大隈[illegible]

[illegible]

（大隈重信関係文書）

板垣退助

[illegible]

[illegible]

[illegible]

板垣退助

[illegible]

又土州民權ノ師範タル板垣氏ハ[illegible]

[illegible]

[illegible]

（大隈重信侯傳編纂會）

遂ニ其六名共行社ノ演説有之板垣氏モ臨席同氏ハ
大ニ喜ンテ日常ノ書生輩ニ至ル迄斯ノ民權ヲ擴張
スルニ熱心スル我邦ニ最早可ナリト云ヘシタリ
又土州民權ノ師範学校ナリト云ヘシタリ
先ハ其節衛ヶ高陽社員ト加ヶ多日ヲ近在迄ヘ
説法ニ行ニヨキ二三日ハ所報知ヲ忘ルナラン同行諸君
計ヤリ然ト帰リ次第其景況ノ詳細ハ報可仕候
○探偵者巧ニ既ニ入社セリ今後報告ハ愈板垣ノ肺肝ヲ探知スルノ時節迫ニアルベシ
立志社吉田等拘引ノ一条ハ大ニ金ノ損失ヲ致シ是

試書を陸軍ニ探偵手ニ渡ノ同別ニて内秘ーとり多

（大隈重信侯傳編纂會）

立志学舎ト申シテ英学校ヲ設ケアリシモ本ノ一条ニ付
此方其教師ヲ迎ス云ヒノ評議アリ

○金員欠乏ノ報告先ニ出ヒタル有リ今次ノ報道ニ於テハ愈欠乏スル所以明了ナリ

更ニ新聞紙ヲ演説舎ヲ盛大ニ致ス目論見ナリ戸長
長ハ縣会設立ヲ待リ希望又如故ハ人民ノ内往々戸長
ニ論シ係ル者アリテ区戸長モ張レト之ニ因レ已レノ責ヲ縣会ニ
譲ラントスルカ為ナリト聞ク

奇談アリ或農夫ハ長ノ所ニ行キ雑税ノ事ニ付キ論スル
ニ我ハ米二俵ヲ荷フテ更ニ若トセスト雖レモ君ハ必ス之ヲ難ン
セン若シ是非之ヲ荷ヘト云フ君ハ如何セント欲スルヤ恐ク

（大隈重信侯傳編纂會）

ハ無理ナリト云フナラン今稅ト雖モ亦之レニ因シ出スヿ能ハザル者是非ナシト云ヘリ豈無理ナラズヤト

左等ノ暴民數多有之ニ付已長モ大ニ困却ス由官員ヲ見レハ彼レハ我等ノ雇人ナリ是レ市中一般ノ通語ト見ユ

近来諸方ヨリ探索人數多入ル(ヒ)ニ付他縣人ハ以後人社スルヿヲ許サズト云フ評議起リタリ此事ニ付キ板垣氏日ク東京ナドハ土州ノ穩カナラサルヲ恃リニシテ者アリ然レトモ其證證ナルヿ如斯我大ニ不解若シ探索人ヲ送ラハ元老院議官等ヲ出シ地方官ノ行政上ヲ探ラシムルコソ肝要ナラント

右ノ外色々御話シ有之ル得共到底席上ノ談ノミ挙動上ニ

（大隈重信侯傳編纂會）

係りタル事ハ異事ナシ

○本條板垣ノ口說ハ探偵者ト應對ヲ請ナシ男マレヤ

因テ生ハ只今ヨリ近在ニ趣キ申候此余委曲歸リ次第

可申上

只今諸社以爲ニ付尤モ恐ルヘキハ第一演說會ト即推察

アリタシ人心鼓動スルニ大ナル差響キヲ生シ

此節市中ニ尤モ流行スル俚諺ハ定メシ御聞ナンヘシ

土陽新聞ニ出ス

一ワトセ人ノ上ニハ人ハナシ權理ニ変リガナイカカラハ

コノ人ヂヤモノ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

大隈重信侯傳編纂會

前原一誠暴挙取調

找了

明治九年十一月九日取調

四等警補 大塚杉三

七等警補 桑原啟造

山口縣士族長門國阿武郡

萩居住 奥平謙輔

三十五年十月

一方今外國ノ交際專ラミシテ宸襟ヲ安セラレス樺太ノ如キ魯西亞ト交換ノ名義アルト宝其實彼レニ棄ハルノ姿ニシテ加フルニ巨萬ノ外債アリ租稅如何程收徵スルモ

大隈重信侯傳編纂會

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

（大阪毎日新聞社）

シ木戸某トハ常ニ異論アリ

一十月廿六日欲萩ニ集合セシハ別ニ令スルニ非スト雖モ先年佐賀ノ役ニ山口縣令ヨリ前原一誠ニ令シ萩ニ於テ集兵ス然ルニ今度熊本ノ暴挙ノ説ヲ傳聞シ各自私有スル處ノ兵器ヲ携持シ明倫館ニ集合スルニ至ルナリ

一同廿七日欲明倫館ニ集合スルモノハ曾テ一誠以下五名同憤ナルヲ以テ俱ニ出京ナスノ場合ニ勢ト立至リ同國須佐港ヘ趣ク人員凡ソ三百人

一同廿八九日欲萩ニアル遺族ヲ捕縛シ或ハ家産ヲ掠奪スル等ノ暴動アルヲ報セシヨリ憤懣切齒ニ不堪直ニ萩ヘ

（大阪毎日新聞社）

引返シ終ニ諫早徒目付及鎮臺兵ト戰爭ニ至レリ

一同三十一日欽彈藥盡果テ戰死又ハ自盡スルモノ多シト雖モ素ヨリ隊伍ヲナセル人類ニアラサレハ其死亡スル人員ハ不詳也

一右戰爭破レテヨリ一誠以下五名萩ニテ小船ヲ雇入脫出東京ニ至ラント出帆セシカ風波ニ支ヘラレ十一月三日出雲國神門郡宇龍浦ヘ着般同五日捕縛セラレタリ

一此擧ニ就キ同盟期ヲ謀リタルモノハ曾テ一人モナシサレト諫輔ト俱ニ國事ヲ病ムノ徒ハ獨リ山口縣下

而已ニアラス　皇國枚擧ニ逞アラス

一無本暴擧ニ関セシモノニ非ラスト雖モ其勢変ニ於テハ謙輔ノ心中ニ相似タリト想像セリ

一兵器ヲ携持セシハ途中ノ妨害ヲ防禦スルノ為ニシテ敢テ亂暴横行ノ念ナシ既ニ山口縣廳ヘ其旨届置キタリ

一兵器ハ先年佐賀ノ役ニ中野山口縣令ノ命ニ仍リ前原一誠集兵セルトキ備ヘシ弾薬モ亦同シ

一萩ヨリ山口ヘ出発ノ見込ナレトモ途中敢テ同士ヲ募リ誘引ノ念ナシ

一金ハ萩町平民酒井屋某ヨリ二千圓借用セリ

（大隈重信侯傳編纂會）

其外七百圓斗欲横山俊彦區長ナルヲ以テ在合セノ
公金ヲ持出シタル筈ナレト確ト員數承知セス同人ヲ
取調アレハ明瞭ナラン

同日調

山口縣士族長門國阿武郡
萩居住　馬木　杢　　廿三年七月

杢儀先年佐賀ノ役ニ中野山口縣令ヨリ萩ニ於テ集
兵ヲ前原一誠ニ托ス杢其兵列ナリ兵備出張ノ際ニ
至リ已ニ鎮定空シク解隊トナル其後モ國家變動ニ際

（大隈重信侯傳編纂會）

シテハ元盟テ　朝恩ニ答フルノ素念些ヰナシ然ルニ
今度熊本縣下暴擧ノ説囂々紛々傳聞スル折柄十
月廿六日欲萩地ノ士族各々兵器ヲ携ヘ明倫館ニ馳
集ルノ景況ナルヲ以テ杢モ亦私有ノ銃器ヲ携提シ直ニ
同館中兵學舍ニ至ル之ニ參集セル人員凡八九十人ナ
ラン
一翌廿七日欲一同ト俱ニ須佐港ヘ赴クト雖ヒ其趣意未タ何
タルヲ不知然ルニ萩ニアル遺族等何者ノ所業ナルカ捕縛
又ハ財産破却ノ報知アリ一時憤怒ニ堪ヘサルヨリ一同萩ヘ
迄シ終ニ諫早徒及ヒ鎮臺兵ト戦爭スルニ至リ

一弾薬盡キ味方破レ戦死又ハ自盡スルモノ多シ此時杢ハ
一時須佐港ヘ避ノルト雖モ進退爰ニ谷ル折柄前原一誠
外五名乗船アルニ遭會ス幸ニ入船ヲ乞フ後チ船中ニ
於テ初テ一誠等ノ素志ヲ聞ク實ニ國家ノ為ノ有志
ノ覺悟感激ニ不堪是ヨリ同盟セリ
一右ノ外一切申立ルヿナシ

同日 調

一金策ニ付テ萩ニ 山縣士族長門國阿武郡
共ヨリ種々掛引致シ遂テ 萩居住 横山俊彦
ニナル所ノ公金七百圓備ヒ受リルト雖モ其手 二十六年

（大隈重信侯傳編纂會）

十月廿八日欽萩地明倫館及ヒ寺院等ニ集ルモノ凡二百斗其原由一新以来未タ無事ナル年ナシ爰ニ熊本ノ暴挙アルモ畢竟政體上人民服セサルヨリ生スルナリ幸ニ憂國ノ士集合スルヲ以テ之ヲ期トナシ　輦下ニ謀死スルノ外他念ナシト決セリ

一此挙ニ付テハ別ニ謀首アルニ非ラス熊本蠱動ヨリシテ自然慷慨ノ有士起ルニ至ルナリ

一金策ニ付テ萩ニアル有士老輩ノモノ混雑ニ際ニテ遂ニ姓名不覚共ヨリ種々掛引致シ追テ償還ナシ呉レヘキ筈ニテ匿役所ニアル所ノ公金七百圓備受リルト雖モ其手續如何ナセ

シヤ不詳知ナリ

一元會津藩士長岡久茂ナルモノハ本年五月中俊彦出京ノ砌面會憂國ノ論議大同小異ナシト雖モ決テ事ヲ約セシモノニ非ス其後音信不通

一同藩士井口慎次郎弟元因州藩士松平正眞ハ東京ニテ一面セシヿアレト其人物詳知スル程ノ交際ハセス

一右ノ外奥平謙輔申立ルニ同シ

一宇竜港ニテ上陸村役所ニ出談話ノ際捕縛セラレタリ

同日調

〃

一宇部村ニテ士族林藏ノ次男ニ出ル藩ノ命ニ依リ

一古谷ノ奥平謙輔中立ニ同シ

一同藩士中ノ熱心ノ士ハ本藩ノ命ニ依リ

一同藩士中ノ熱心ノ士ハ本藩ノ命ニ依リ

一元會津藩士ノ本藩ノ命ニ依リ

萩居住　佐世一精　年四十月

一奥平謙輔中立ニ同シ

一同志　内玉木正誼　松岡忠　萩ノ士族ハ戰死セリ

一萩ノ一戰左腕ヘ炮疵一ヶ所負タリ

一多根十郎　名弥十八　須佐住ノ士族ニテ憂國ノ士ナレハ玉木正誼一精西

名ヨリ神州ノ正氣挽回ハ此擧ニアルヲ云ヒ飛信ヲ以テ促スト雖モ如何セン此擧間ニ

一玉木文之進ハ正誼ノ養父ニテ年齡七十有余慷慨ノ氣尤盛ナレト老

病常ニ臥床ニアリテ此擧ニ關係ナシ

横山俊孝從者

白井林藏

一前原一誠ハ第山田某病気ニ付介抱トシテ須佐迄付添フ

一三十一日夜萩ヨリ乗船同夜須佐港ヘ着

一三十一日午前第十時頃ヨリ萩町ニ於テ戦争午後五時頃畢ル橋本町ヨリ小橋迄焼失ル戸数二十戸斗

一山田佐世ノ両人炮疵アリ盛ニ一誠ハ東京ヘ出ル相談ニ會所ヘ参リシハ船頭ヲ雇出帆セントスル仍テ上陸

一船中ニ米二斗出帆之節買入有之

一船中ニ金千圓其外ヒストル刀鈍五本斗アリ

九年十一月十五日取調

山口縣士族長門國阿武郡

萩居住　前原一誠

三十九年九月

今度萩地ノ一擧タル抑旧幕ノ政晩年不信ニ陥リ爰ニ於テ　勤王ノ論天下ニ盛ニ一誠旧主ノ宿志ヲ繼キ苦心奔走北越ノ參謀タリシカ終ニ有士ヲシテ　王政ニ回復シ人民始テ　朝恩ノ忝キヲ知ルト雖モ一新以来

（天隈重信侯傳編纂會）

明治九年ニ至ル一年ノ無事ヲ謠フノ年無シ政令次第ニ苛酷聚斂ニ渉リ却テ民情憂服ノ心離レス其事實ニ於テハ一誠七ヶ年間ノ閑居中視察ヲ究ムサレト弱民ニシテ起ルヿナシト雖モ如此人民ヲシテ安ン國家ヲ維持セシヤ已ニ左府公ノ遺念アルモ事曖昧ニシテ條公ヲ始メ未タ何タルノ令ヲ聞ヘサリ人心迷動傍觀座視ニ不忍以テ同志ノモノ明倫館ニ會シ速ニ方向ヲ決セント十月二十六日夜欽天木正誼（戦死セリ）奥平謙輔横山俊彦等中合同所ニ至ルニ追々參集ノモノ若干終ニ憂國至誠ノ心ヲ協同シ輦下ニ迫リ諫死スルノ外他ナシト決シテ

（大隈重信侯傳編纂會）

其旨山口縣廳ヘ屆置出京ノ手筈ヲナセリ

一同廿八日秋同志ノモノ須佐迫行ク爰ニ報アリ萩ノ遺族ヲ捕シ或ハ家財ヲ掠ルト云フ何者ノ所爲ナルヤヲ糺シ然シテ後チ出京セント一同引返シ其始末ヲ問ハサル中不圖モ鎮臺兵ト鬪戰ニ及タリ

一右戰ハ彈藥盡キ一時引揚ルニ素ヨリ戰爭ヲ好ムニアラス故ニ同所ヲ脫シ萩ヨリ乘船出京ヲ的トシ出帆スルニ風波ニ支ラレ出雲國宇龍浦ニ滯船中捕縛セラレタリ

一金策ハ奥平謙輔申立ニ同シ

一金策ハ奥羽諸藩中ヲ[illegible]

[illegible]

一[illegible]ハ[illegible]

一[illegible]ハ[illegible]

圖ヲ[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一[illegible]

（大隈重信侯傳編纂會）

一出京ニ付途中同志ヲ謀リ或ハ横行暴動ノ念ナシ

一此挙ニ於テ同志同謀ノモノ外縣下ニハナシ

一元會津藩永岡久茂ハ兼テ懇志ノ者ニテ昨八年六月出京ノ砌久々面會スト雖モ其後音信不通決テ此挙ニ関セス

（大隈重信侯傳編纂會）

第三回ノ

臣民ハ憲法ニ由リ會ニ集ル者日新月異ニ進歩セ

ル會議議論不國人民ハ議ヲ論ジ者ニ相人民ハ

ル第二ノ憲ニ由リ國家國議ノ人民ハ選ヲ出シ代ヲ

ル憲ニ依リ國中國政ヲ議シ集議者ハ會ヲ

第四ハ代議士ハ

全國人民ノ輔佐ヲ集地方官吏

ハ人民ノ選挙ニ由リ地方官吏

ハ人民ノ選挙ニ由リ地方官吏

ハ人民ノ選挙ニ由リ

五代才助様

[illegible]

今般大義大輔諸地方官呼集地方官変化
し大令義を催ふ而義務必ス司法と権再集し
[illegible]一ヶ条所論頗る相違し少数京坂地方官頗る法
度を主張所論多り法度を主張する者多し神戸岡村
[illegible]案の一端有り法度を無議に附し不
中少数を以て所[illegible]人別[illegible]
法度より云ふ所[illegible]
云ふ[illegible]

東京大學圖書

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

（大隈重信侯傳編纂會）

（大隈重信侯傳編纂會）

五代才助書翰　二終

二十七通

紙數九十七枚

（大隈重信侯傳編纂會）

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]
の第一ナリ又政府ハ[illegible]ハ[illegible]ヲ請ハ[illegible]一制
ハ其少ナ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]一
制の法[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]
大害ヲシ詳ナル[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]
[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]
[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]
スルの論ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]
[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]
[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]
[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]

五代才助様

[illegible]

[illegible]

[illegible]

五代才助様

十八日

[illegible]

[illegible]

（大阪市立中央図書館蔵）

今晩如貴子ノ来別紙ヲ通ス[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

（大阪市立中央図書館蔵）

下の法配意をもて作り出す所以術と不術を分ち
得失利害を明かにし何者は主義を
以て軽しとし何者は国家に関係し
国論を統一せんとす故に其所論は
内を主とし外に及ぼす所の意味は
内を主とし外に及ぼす所の意味は
少なからざるの事なり故に孫比口何
とかの論説中に曰く異教スルニ
教義を以て異教を異教と云ふ天下の士族
自由の権を失ふ故に其教を信ずる者
の仕方を見て何ぞ其論の正しきを

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

十一月十六日

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

観ニ不忍拝ニ堪義ニ候ヘハ乍恐興
廢以ての業ニ決命ハ殆ト路ニ帰
ト義ニ相叛ハ誠ニ至難ニ堪ニ
ニ堪ニ

寫

決命ニ次第相ニ分ニ帰ニ
以ニ歩無ニ中ニ

辛未十一月廿日

何方様御廟下

[illegible]

（大隈重信関係傳綱墨書）

（大隈重信関係傳綱墨書）

過日急御手紙内新聞紙かなる一条其後
如何に成行小生等何の某なる物と伺申之後
立弦門の前迄と到る中少年折触去間敷
輔と仮に成り回人に得与及示談探索向申し
俄者之儀なる所なる所と申帯仮に成り一人称
ゝ帯なる成一時まで申先に帯同去勢に成
ゝ仕得共永久の第三者に成りかなる人
来何なる者なる成ゝ今新に加なる子人
二ゝ成り御何故ゝ伺の事なるに成る日付

（大隈重信侯傳編纂會）

[illegible]

なる事ハ以ての外の事なり、然るに、此度の一統の今日に迄を究
中ハ、只飛帰板と、其上に、諸下
を、要路を、張義と、移ハ、栄兵士、其中、官名、
ハ、私田ハ、田地の、名子、三ヶ所、
熊野、田、武蔵、高麗、八木、鞍出、
宗程の、投、矢、[illegible]、
利、[illegible]、[illegible]、
重、八木の、面、法、[illegible]、
[illegible]、[illegible]、

[illegible]

御家の上法事の儀ハ御下家日蓮宗ハ無之
候ハ、吊門宗事大ゝ和尚様ゝの御所望
ハ桐井上大納言殿ハ呼出ゝ被仰出大義
者ハ江戸出ゝ和尚儀義ゝ武用人儀大
義者中ハ出仕ハ申ゝ決ゝ江戸紙幣ゝ相
談仕申ハ出ゝ其機会事情 雖被仰
出家綱ハ引出ゝ相ゝ隠ゝ暇
力義相し事業ゝ進出ゝ少ゝ
共御ゝ届大義ゝ
ゝ

（大隈重信侯傳編纂會）

[illegible]

（大隈重信侯傳編纂會）

[illegible]

大ふ[illegible]

知[illegible]

[illegible]

[illegible]

第十二章

大隈老侯

松隆生

[illegible]

[illegible]

（大隈重信侯傳編纂會）

は陽春機を得て御勅勇を奮ひ

（大隈重信侯傳編纂會）

五代才助談了

五代才伽藍了

[illegible]

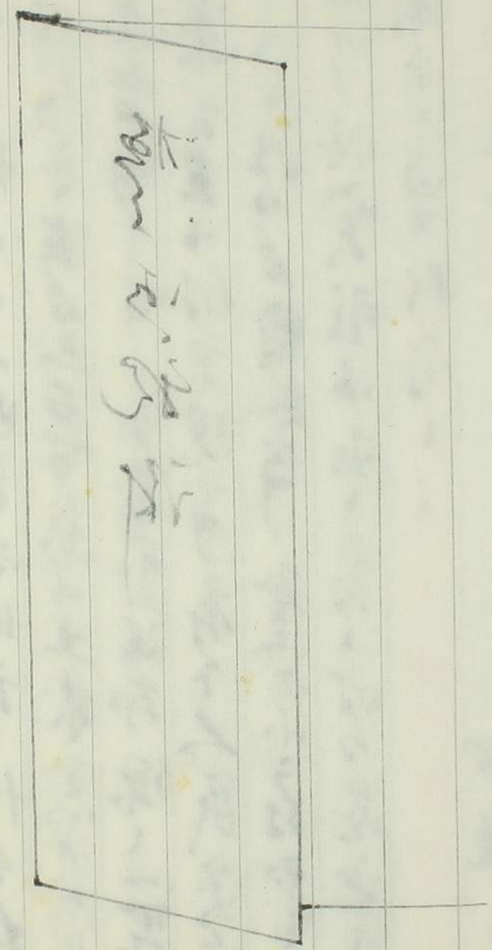
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]



実況雖浸に詳悉あ難き所あ
隨て上海上海帰航迄の間に於ては故
意を以て滞留を不安振は然れども
は考出し難き所あり殊に一条別て探索
仕候事に付き其事と為すの心を有て義を以て
其事と為す事に付き義を以て
表二十四日と一緒に警察官
探偵等引続き探偵仕候
に成り今日神戸に着船

一ヶ年とする御思召ニ付乃ち滞坂嗚呼の負債等
数ニ成間方ニ成度ニ付仍時保
伊東と義下坂の時分去年の始末ハ
下義ハ下坂ニ付ニ何ニ義彰事の出来
ハ難ニ成ニ付ニ成ニ成ニ成ニ成
苦心ニ成ニ成ニ他ニ成ニ成ニ成
上ニ成ニ成ニ成

十二月廿五日

三条信敬

松隈殿

追白 坂ハ小野組鴻池ニ成ニ成ニ成

[illegible]

[illegible]

[illegible]

五代才 卯 我了
元和 昌次序 乾

三月廿九日風雪去る道拙兄代来る薩摩
侍醫来候来る隨而去る廿三日清之助
放免ス

一大隈邸ヘ餞別道職連中ヘ五拾分千
五百余ヘ買取為中酒肴菓子菜地
酒數斟出写高等 神戸ヘ新別ヲ仕方ヘ
出立ス何時も引移ス事 桜井傳吉ヲ高
出岩 熊田主馬代 堀内傳右衛門
住居 吉井ヲ何ヘ 鞆ヲ元ヘ 伊藤甲
住居 吉井ヲ何ヘ 鞆ヲ元ヘ 伊藤甲 桜井傳右衛門住居ヲ何ヘ不都合

（大隈重信関係傳記編纂資料）

（大阪市立中央図書館蔵）

[illegible]

[illegible]

[illegible]

注目被遣候事先月三日帰府致候様仕度旨
下京書面之文三箇条言葉相違候様中等写
両度被下候事只今京都一統騒敷様
厚力仕候事其上状仕候中に
一廉御用元の御意ハ其方御用向
ハ見立と存候写ハ決定ハ戦争
ハ以て融通しよりしく
存候

一森山と義弘帰藩中佳人と内約
備中ハ四五月中陶京京し郎を公儀へ今心

大阪市立図書館

得て頃ろ任年復見るべきの

三百十三

治房公

侍史

（大阪毛利家旧蔵書）

五代才四 様子

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

（大隈重信侯傳編纂會）

幸甲東京下伊森[illegible]
意[illegible]述[illegible]
遠長雑決[illegible]
[illegible]
而[illegible]演[illegible]
[illegible]甲東[illegible]
決[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

（大隈重信侯傳編纂會）

[illegible]

[illegible]

[illegible]

（大隈重信侯傳編纂會）

（原稿第一）

目次

第一章　[illegible]

第二章　[illegible]

第三章　[illegible]

第四章　[illegible]

第五章　[illegible]

（大隈重信侯傳編纂會）

謹而記之

極秘帳

不老考

五代

（大隈重信侯傳編纂會）

五代才助殿

去十吉峠陽北沈去義去南於所之保去峠
前江帰前と去後隨之後去異去丹去
前京博光所去中山号以保去敬急於去拾疾
電信之命出之知去和式九七十一京米以使
白之中之変より廟堂再び於て終夫人保
出峠と去米去西峠と山を動蘭と出所を拾し
前大人保之義陶京京合雑変詳来去巷
志を以所去之消我不動を山と如少を之
以消兵必去物務と謀張所去之を今日を動

遠慮不安を抱き、この事を拙者に探索を命じ、拙者は直ちに長州に赴き、
先ず木戸孝允氏に面会し、事情を詳説し、
その諒解を求めた。木戸氏は、
拙者の説明を聞き、
「貴人の出行を保護する事は、今日の陰謀者の
所為に対する報復を恐れる場合、
保護を世論に訴えて、
事を平和裏に解決する方が、
二重の意味で、
必ず成功する。
貴方は、
何ら心配する事はない。
拙者は、
木戸氏の意を受け、
直ちに帰京した。

[illegible]

[illegible]

[illegible]

久光公は面会し上京し上京し公武合体論を主張し公武合体論を主張し姑息人合体論を主張し
公武合体論を主張し公武合体論を主張し姑息人合体論を主張し
公武合体論を主張し公武合体論を主張し姑息人合体論を主張し
公武合体論を主張し公武合体論を主張し姑息人合体論を主張し
公武合体論を主張し公武合体論を主張し姑息人合体論を主張し
公武合体論を主張し公武合体論を主張し姑息人合体論を主張し
公武合体論を主張し公武合体論を主張し姑息人合体論を主張し
公武合体論を主張し公武合体論を主張し姑息人合体論を主張し
公武合体論を主張し公武合体論を主張し姑息人合体論を主張し
公武合体論を主張し公武合体論を主張し姑息人合体論を主張し
公武合体論を主張し公武合体論を主張し姑息人合体論を主張し
公武合体論を主張し公武合体論を主張し姑息人合体論を主張し
公武合体論を主張し公武合体論を主張し姑息人合体論を主張し
公武合体論を主張し公武合体論を主張し姑息人合体論を主張し
公武合体論を主張し公武合体論を主張し姑息人合体論を主張し
公武合体論を主張し公武合体論を主張し姑息人合体論を主張し

右之条件は宗門御改帳に相違無之候
供仏米之儀
寛永十七
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

今日者殊度々如意心法あ康法を殘滿
厚報の被成候仮令天皇の信命拙生に守
昊情を孤生中少々悔古故会被遊を拙生
長西蕃と藩主と藩主を服とを古不安命既に兵
端を開きい勢を以て大久保内務卿を
権使命拙生下院に呼び横濱出帆を遂退
信を報ぜ拙生東京に神戸に京面会保護を
勝伯承伯同志仮令兵技を立て奇兵蕃
地物物を出し和兵五年を以安死北京を

五六六七四六

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

端は多忙にて為家に併文形とのみ左兵衛を以て之を
一の為こゝ下に勝義と後文少も交際上と云ふ不詳言
と云ふ事実一の外我国興廃に関係と信ぜず暴動と
云ふ事比は僅諸情状と増く不申に不敢出向多年得共
言に無之候

八月廿日

大隈重信様

松隆生

元代大明殿

五代才助 拝了

既に京地著之を聞候不顧恐懼言を陳如
斯に海内を蔑如趣其実孫別紙を以見れ之を実
に去月十五日天下を
家康に授候 是石大なる本年 以下其故
仍之為贄言を五ヶ条別紙を以上申
大天生を生質に関下を明と之を容容之を
政先の得をアラス一言関下を経験を表せらる
時に初条を不幸との謂有度 於信長花
廻庵宗を之景其為を考念元時に即

筆を取て此要条を以て閣下に贈諫スルの業トシ
閣下と缺を責て天家と平安を祈シト欲ス而
て閣下之を拙見云人方と堪友厚く赤心記臆
やうこと頓首再拜

一月十日　　杉隈拙

京信子爵閣下

（別紙）

閣下ノ恩惠ヲ蒙ル者ハ恐ク其ノ美ヲ擧テ其缺ヲ責ル者ナカルヘシ今友厚ハ從來ノ鴻恩篤ク一ヲ報セン爲メ閣下ノ短缺ヲ述テ赤心ヲ表ス閣下高明其失敬ヲ恕セヨ

第一条

愚說愚論ヲ聞クヿ能ク堪ヘシ

一ヲ聞テ十ヲ知ル人今閣下賢明ニ[illegible]ルノ短缺ナリ

第二條

（大隈重信侯傳編纂會）

（原件）

（大阪電信俱傳編纂會）

已ト地位ヲ不同ル者関ト人ノ見ト其論説ヲル処五十歩百歩ナル時ハ必ス人ノ論ヲ賞テ是ヲ採用スヘシ

人ヲ論ヲ賞シ人ノ説ヲ採ラザル時ハ今閣下ノ徳ヲ弘ル不能即賢明ニ過ルト謂ハザルヲ得ス

第三条

怒氣怒聲ヲ発スルハ其徳望ヲ失スル原由也

怒気怒聲ヲ発ル二ノ益アルヲ聞カス時ニハ発

任ハ奏任ニ至ル等外ハ家

外的當ノオヨリ収ル不能今閣下高明其

（大阪電信俱傳編纂會）

代議士ニ選ハレタル者ハ其人ニ代リテ其選挙区ノ人民ニ対シテ責任ヲ負フ

第三条

議士ハ議場ニ於テ言論ヲ発シ表決ヲ為スニ付テハ其選挙区ノ人民ニ対シテ責任ヲ負ハス

議士ハ議場ニ於テ言論ヲ発シ表決ヲ為スニ付テハ其選挙区ノ人民ニ対シテ責任ヲ負ハス

議士ハ議場ニ於テ言論ヲ発シ表決ヲ為スニ付テハ其選挙区ノ人民ニ対シテ責任ヲ負ハス

議士ハ議場ニ於テ言論ヲ発シ表決ヲ為スニ付テハ其選挙区ノ人民ニ対シテ責任ヲ負ハス

（大阪東信俱楽部編纂会）

之レカ謂フ処為ス処意ニ不的ハ其人ヲ不待其人

能智識ノ閣下ニ不及ヲ知テ怒気怒聲ヲ

發スルハ閣下高明ノ缺ト謂ヘカラサルヲ得ス

第四条

支務ヲ裁断スル其勢ノ極ニ迫ルヲ待テ之ヲ決ス

ヘシ

井上ニシテノ如ヲ指ス

第五条

己其人ヲ忌ム時ハ其人モ亦己ヲ忌ムヘシ故ニ己

ノ不欲人ニ勉テ交際ヲ弘メラレン事ヲ希望ス

（大阪東信俱楽部編纂会）

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

柳原河野ノ如キモ真ノ厚ク意ヲ表テ是ヲ御ニ用ラレンヿヲ乞フ

五代才助殘り

[illegible]

（大隈重信侯傳編纂會）

[illegible]

十月十三日

定信様

松濃

[illegible]

[illegible]

[illegible]

宮内大臣之印

[illegible]

十四十三

[illegible]

三条老門を自上京誘致致す事と因決致
やはむ式を西北に致す儀を小西吉忠の妨害を為
中山宮門を東京行之儀を拒絶致す事因
静寛上京を唱へ自東京を談判方亦
上京を中すこ因儀酌小[義]議つゝ如あるし調
不八句論迄等こ義大と事を為スの小芝非
紛々形を不正不中小西吉忠の妨害を
為旦事を体不不能況るに印象当門従を
万条寺等こ我輩に神を保護スルナラハ賈
レハルノ方法に出る之を降伏為致を印象

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

極位祝授

立代オ四枚ノ

[illegible]

（大隈重信関係傳編纂會）

[illegible]
以外ニ出ル事ハ不可ナリ
我邦ニ於テハ法律ヲ重ンジ
市井ノ間ニ其四民ノ内相互ニ
ハ相之ヲ自ラ信ハ滞ル故ニ心得ニ
基キ中ハ
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

大阪市立図書館蔵書

大阪市立図書館蔵書

五代才助 殺了

表暖之儀中山家ニ於テ静謐ニ成ル
趣ニ付テハ京ニ隨テ
出ル事ニ成リ東下ノ趣ニ相聞
ヒ海ハ海東京ニ成リ宮氏内ヨリ之義ハ
ニ付テハ表ニ出ル事ハ内中相ニ義有ル
歟ニ付テハ是ハ一部元々教和ハ
東ハ模様如何ニ成ル事ハ計ラレ不申ニ付
俄ニ有之ニ付ニ芳ニ其ニ内ニ於テ
中山家ニ於テ義ハ以ニ後ニ表ニ出ル

下ニテ能ク[illegible]和ト切[illegible]ハ去四月廿[illegible]
ト儀ハ注[illegible]
一[illegible]上ニテ此[illegible]
[illegible]ニ未幕府ハ[illegible]皆[illegible]
[illegible]ト儀ニ[illegible]地
[illegible]江ハ[illegible]ト云ハ[illegible]
勧[illegible]ハ[illegible]
[illegible]ハ[illegible]
[illegible]ハ[illegible]
[illegible]ハ[illegible]

此度者ハ白板ハ白文ハ堪忍なる事
学生達ハ事件ハ旨ハ京仕ハ節を
出ハ上ハ其上心得ハ相其上心得ハ事
ハ戊辰ハ任事便利ハ事ハ事ハ事ハ事

三月十六日　於清水

大隈重信侯

五代才助殺了

[illegible]

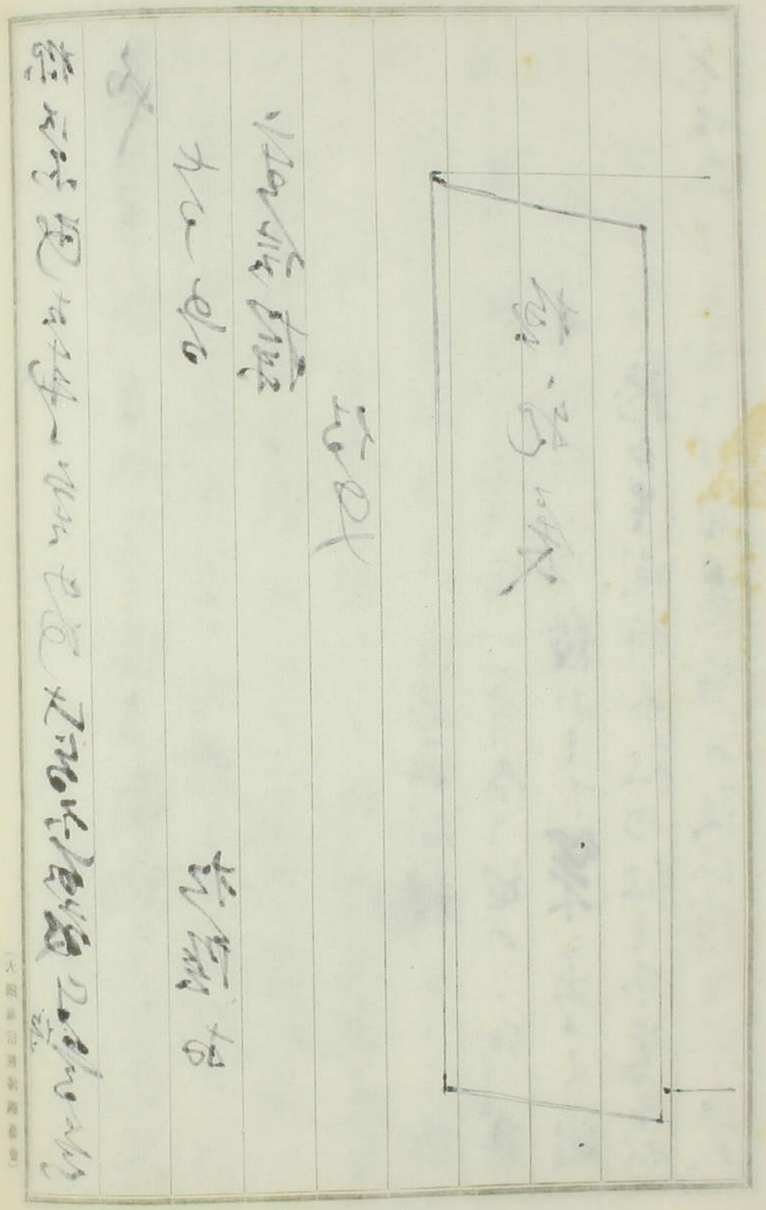
[illegible]

[illegible]

標柴郎吉事ニ付ハ
ヶ
七月廿
主信探
仮更
松隈和

（大隈重信侯傳編纂會）

五代才助 様



（大隈重信侯傳編纂會）

若し支那約束に未だ憂中出る別我を以て出る中上
軍
為は為の陳は百餘の年出度を倣ふ隆盛迄
生じ丈夫吻抜ける写出数念を彩陳を滞京
中い不安憂は考志を繋り源厚出授を日出て抜
重及し景況如何の方策の　不安を京紀し
景況三年出て東京出何年小国三年出京彼
し一年決若三年出る方不国家の大略出減論下
方百無彩出て出高陵儀を何時を

（大隈重信侯傳編纂會）

大阪大学

○[illegible]月廿日東京仕出し常人一言申ス二郎重
何の[illegible]を生ずるの説有り[illegible]
[illegible]
説を一の証拠と御[illegible]
○起業工費[illegible]
[illegible]
[illegible]

（大阪電信局保存調査会）

[illegible]

○[illegible]

[illegible]

○[illegible]

[illegible]

○[illegible]

[illegible]

（大阪電信局保存調査会）

内務ヨリ雑誌一冊ヲ添付ス多忙中ヲ以テ謝意ヲ表シ
先ヲ以テ右陳述ス

敬白

六月廿日　松隆

至信様

侍史

尚ヲ以テ雑誌五冊ハ追テ上申ス仰ノ
如ク謝意ヲ表シ不丸ヲ以テ右ノ
様仕度申　追テ尚

（別紙）

相上野了吉筆一編之要来第中法之生徒
名五拾四名諸中一名病欠一名
去陵之法祀神飲耀之式拝礼式終而
何之事之奇報を受之之盛中上之大日宴
第一池榊原之内話打所長間人と見世之為
楽甚得之今日之お楽と家を技業を為れ
用之儀存寄を動之事い諸様之礼業之度
之為年大改存し之之自論ヲ以根本為之一人
之者今日必彼到表之所を下之所を

（大阪電信係傳習生）

活辺幸 終了

[illegible]

（[illegible]）

物無之とそし大意と云因て鎮撫と降伏男女と
あり老少を分て多兵を大隊探索とす未とそ
日と薄氷を履と為探索者の情とあり
ヲ人稜と云ルハ其ハ之を一の決と云と義況与好
第アルモノハ是迄兵員と近傍と所捕と地形
を長と兵隊探索と行命ハ必有用と思上ハ未
有無を以を賜を也と云る因然るに本一番
と江戸ハ明年薩ヲ肥後迄より下ル其迄生
を後と後と薩と明年と後と一隅ニ時有
と雇起こ元の為と物資ハ是ハ国力を[illegible]

報ずべき恩義を忘れ、第一に公の事を考へ、其の必先の事業を打捨て、其の国の為に仕事を
と国之輝を揮ふ山野を識に恢報ス山野に倚て生を
乃至公の事を忘れ、第一に公の事を考へ、其の必先の事業を打捨て、其の国の為に仕事を
しめ、之を四海に示すとして之を志社
其他例と隊伍を解き赤国と云所れ義之
実に其日を以て俄然之を告げ切迫之志社解
社を立るを云解し社持
スベシトスル 上ニ立ル者ハ形チヲ收メ他方ニ例シ煽動
モ自由 第ナルヲシカト云

○池田氏皆業一家ニ成ノ時ハ陶板豊ニ起ル事
稿決ニて勢高ニ成ト云言知ル人ハ多シ
三月比ニ成事ニ成ト所ニ成ル事ト先日聞タル
人有ル先ハ和泉ニ和歌ニ由故事ニ成ルト云
ム陸奥ニ也伝ニ成ル所ハ上京ニ
ナト白鬼ヨリ長ク分陸奥ニ一家ニ伝ル物議
ニ有ル其内ニ陸奥ニ見舞ト云ル上京セ
ニモノニ有ニ田ナレ民景子悔ル稿ナリト云
家ニ和歌ニ先ニ成ル事ニ成ル

七月廿

東民

高知県立図書館

杉隠記

高知探書了

為我方知ら探索書を上陳致候吳状
毫之備家道、言あり家探復人吟味仕
候ハ彼杉山ら峯節ニ従ふものうて現ハ松山
ニ於ハ南方ら関係眞ニ毫之ものなる慥ニ可有
ら併一角時流ら民権論ハ多ら変之死
ふ事九州路ら峯迄吳状なり
肥後ハ不お者士族共紛議有ら事ハ猶之
晋節ハ家ら事之時南部ハ
栄ら変動を起
一番と御信ぜられ紀州

（大隈重信侯傳編纂會）

陸奥ニ徒山東ニ下リ新潟ヲ決スルヲ
計ル其の気力ハ実ニ社ト伯ト争フ所の者
トスル所ニ非ス而シテ其ノ成ルヤ
ヤ

人六人誌所ヲモ一人宛寄ラシヤ
自然七月十日
時ノ問ニカ新潟ニ四五十人集ラシヤ何
等ノ恢議カハ分リ兼候様武者ヲシテ騒動ヲ惹起致サセ
候間利能御勘弁ヲ知可及候様御沙汰ノ時ニ景初
墨ヲ以テ同郷ニテ向ヲ問ニカ[illegible]ヲ[illegible]退散セシ故誰モ等
閑カス
高知出身者等情ヲ御ノ会社及中御ノ徴税連

（別紙）

去ル百二日面会新築板垣ノ長宅ニ集会セル人員
数ト四五十人其内他県人モ若干アリ其集会スル所陋
屋ニ一人二人諸所ヨリモ一人宛来リ何処ヨリ集マリシヤ
自然ト集マリ何時ノ間ニカ新時ト四五十人集マリテ何
等ノ協議カハ分リ兼候故或者ヲシテ密ニ探偵致サセ居
候間判然御通知可致候将又其長ニ教スル時モ最初
集マリシ同様ニテ何時ノ間ニカボツ〳〵退散セシ故誰モ気
付カス

高知壮年輩博多郡ノ合志社及中郡ノ激烈連

（大阪電信会社傍観録）

[illegible]

[illegible]

（[illegible]）

（大阪電信係傳稿鑑査）

八日ハ板垣ニ通ヲ合ハセ板垣ハ今ヲ待耳ト聞ケリ九州地方ハ殘ラス交際日々密ナル故九州人ハ必ス注意アリタシ其他ハ先達テ申上シ諸縣ナレト東京攻撃ニ交際ヲ絶ヒシ縣アル由是亦同住意アリタシ又石川ハ勿論同縣ヨリ杉田定一ト申ス人昨年中ヨリ此地ニ来リ居レリ往レ動モスレハ上阪且石川ヘ帰ト往来致シ候間若彼者ノ姓名ハ見認アラハ屹度内注意アリタシ

平陽社高知ノ休ノ上阪ヲテ大阪ニ開社スルト申ス已阪上阪セシ故ハ注意アリタシ

銃器ハ弦ト千位孫葉弦ト十カ発ニ至レタル趣ニ聞ヘリ

（大阪電信係傳稿鑑査）

豈圖らんや

[illegible]

[illegible]

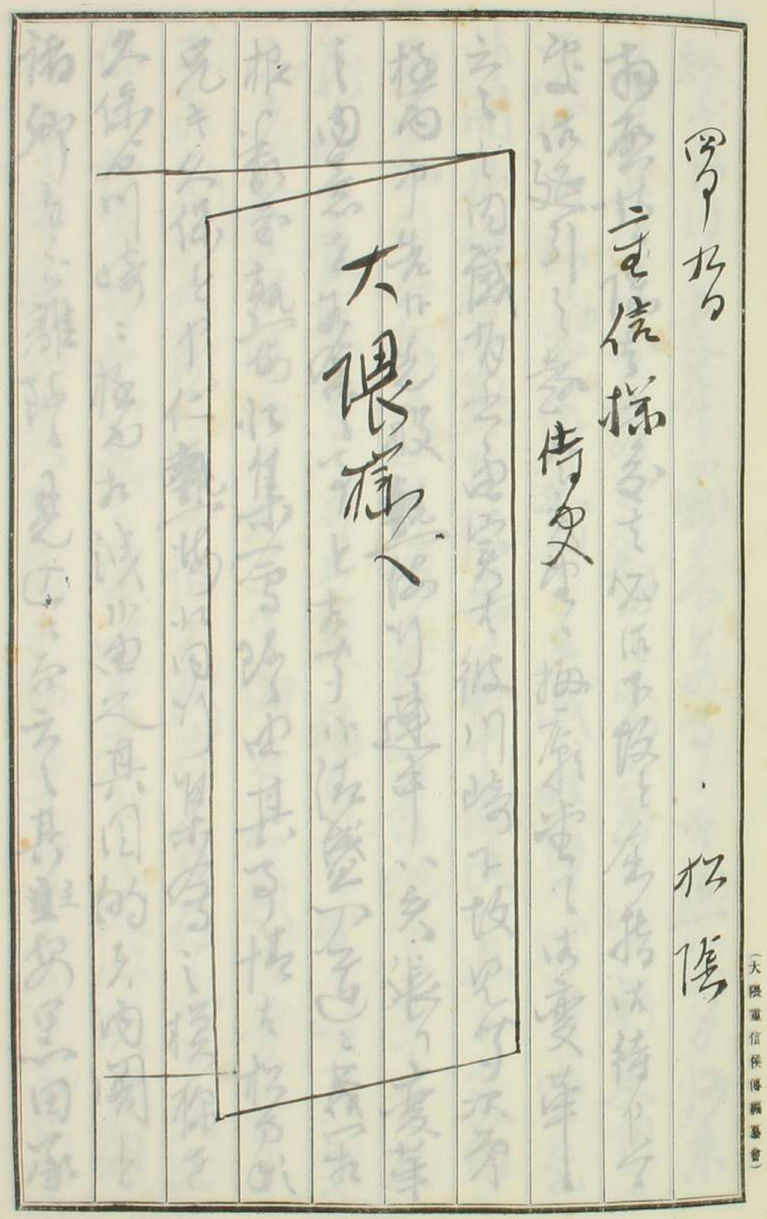
[illegible]

五代才助様了

去廿七日大坂商法会議不日開会既後
宰相と中者一節法学者の事業貿易と目的
台北海道之事同人北海道に行商出之事
北海道に行商之有志者情事為御伺
相成事以同道設作有御下命度御
八住友と御現代人之者右住友と家政を養
以の者云不能人時同人懐疑大変事を為
道に住友と家政を中興仕し陰徳を表
と申八全同人と勧之相成者に就而者

大阪電信局

節住友家ニ出勤ヲ願ヒ本藩ヲ脱セ
郷当ハ豊前ヲ経テ九州人ニ成ル者ニ
仮式ヲ五右ニ脱セ[illegible]ノ式ニ成ル
ニ事ニ付テハ[illegible]
ハ度ニ宮紙半田阪坑ニ義ニ出張ニ相依テ
仕事中ハ同人ニ家名坑業ニ附キ[illegible]ノ有
ロニハ元ヨリ考ヘ[illegible]半田山実況ヲ検査
下ル[illegible]報告ヲ上ル様ハ[illegible]
我ハ実ニ義ニ元ヲ[illegible]
此旨ヲ依頼ヲ[illegible]


罰則
三信採
侍史
大隈侯へ
松隆

五代才助殺了

お願ひ仕候事を以て伯爵を始め諸侯に告げ
奏上延引し難き大変出来
たし候間我輩の実を以て
極内々先ず之殺戮仰付遠年以来張り変革
し国家を安全にすべしと
根源を熟慮仕集合
元キ久保と申仁戦場に
久保門崎に於て
諸卿をも雑談見込
主
[illegible]

大隈家文書

[illegible]

知らぬ時は、変革の事なるに方興滅亡の原因
は井上伊藤両氏の主張に帰すべき筈なれども
前述の如く伊藤氏は四年迄は岩倉
外国使節歴訪の為め不在にて
未だ知る所なし唯だ時の政府を挙て大
義名分を変革せんとの時に一身
上の利害を目的とせざりしは変革に
当る者の大義なりと謂ふべし又久
保右大臣井上大蔵卿の如きは人心決定難
信ずべき迄に知る丈の切迫なりしは大義

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

（大隈重信関係文書編纂会）

極て到了の事当方に於ては
閣下今般出京被成遊し儀に付去る儀
与は無御座候哉一般御伺
之上被成度旨に極常宜敷
或は出京被成旨相唱し申
為出京之上御伺被成度
二月十四日

[illegible]

松隆

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

五代 四校了

（大阪市立図書館蔵）

（天隆寺信侯像画賛）

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

立代オ 1011 裁了

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

演壇三百人氣象約改正を其間不可欠るもの
を知り各議員に横濱港兆を最少如何なる
世論如何を問ひ続て福田小奮を
同行し数度熱心奔走せり何ぞ云ふ人
形を去るに臨て決を取ること目的に其間脚色
仍之議員中名委員撰定を小奮議を開
キ出発を云ふ此を教示且其後の目的
を無く然して投大會を同日本[illegible]二百隨分最
も好色なる議事と相成たるも
横濱神戸大坂外四人面倒議和なる

書ニ言出タル書類ハ何モ義和解ヲ為ス如キ言
語自然ト論ヲ止ム場合ニ相成リ候ヲ以テ
論ヲ延ハ不少ト云ヒ所ノ内閣ハ如ク
大阪高佐高議和ト仮義ハ亦不主ノ儀ニ一同
情実ヲ以テ必ス迄義ニ為シ与論
同ジ言電報ヲ以テ儀ハ決シテ考ヘ為
ス所ニ本年第十六日調印ニ言ヒ
ヲ都合ニ本年中ニ目的ヲ成ス即チ
ヲ以テ義ハ高目的ヲ成ス
ハ大事義ハ変ス目的ヲ生ス

不都合ニ相成ル事ハ大会議議決ス
節季ニ付高人ヲ雇ハ
ヲ以テ可申ハ
ヲ以テ兼テ攻合ヲ以テ
時ニ大商方ヲ始ト
殺神戸損害ヲ
討議スル
中ノ内ハ
ヲ来月七日
議ハ
不都合ニ相成ル事ハ大会議議決ス
節季ニ付高人ヲ雇ハ
ヲ以テ可申ハ
ヲ以テ兼テ攻合ヲ以テ
時ニ大商方ヲ始ト
殺神戸損害ヲ
討議スル
中ノ内ハ
ヲ来月七日
議ハ

三月廿五日持来ル京伝ニ付ル日付書下
ル

○露国ハ我ニ向ヒ曰ク日本ハ我ニ対シ
ハ之ヲ公ニ致シ之ヲ信ス故ニ我ハ之ヲ開ク
ニ当リ敢テ開ク所ニ非ス故ニ我ハ之ヲ公ニ
ハ寧ロ海表ハ徳僧ニ付テ
前ニ敵国ヲ為ス者ハ徳僧ト同人ト
相議ヲ生ス事ハ我ノ為ス
ヲ中ス
ハ
ニ
ハ
仍之津持ニ
と申ス
ハ
ハ
ハ

明治十三年九月

[illegible]

[illegible]

[illegible]

とあれ加こ市中ニテ東海道ハ小天目山ハ如ク
蔓延シ肥後ハ熊本城ハ孤立シ摂津ハ兵庫ハ
陥ト摂政ニ迫ツテ恒ニ信ニ孤ル
代ツ可為国家元ノ所ニ
小宗ヲ立テ大義ヲ小義ニ
と上奏ス

重信様
拝啓
松隈

五代才助殺了

商法は動静自由にて弥生丸一隻を以て
代替を唱ひ「ビスマーク」殺説と接続の事実を
雷は投送船を投じ内ヶ「ルケ」一冊に第五編注
意を無ること能はざるの有力を得ざるは
日初日来必ず勉慰霊を以て何ぞ下
二人急遽不快併器子些計を如何
要て出京而して何年は待ちて
動い相方合は勝を以て解与を
少世界中義を商法存義所設立為

即政府に一部分を懇請献言為す所の実長崎
三港一名居留地を廃し開港を延期し全国
中外是非利害を説き義捐勧誘の事務を
○薩田組掛和下京京都祝祭を掛引き
府に大奇談を為す様に不出力者に
跡を拝へ少事を御仕振窃に探偵所なき
出其御論を不得外を為す様に
等に京都祝祭を取調し
○米を高値一時に騰貴
を鑑見つ外数日を取調本何の為か

安心仕候ハ、貴方誠ニ御不誠ニ御ハ其的
為ニ九大ニ貴誠和ニ御ハ
敬意得貴意ニ之ニ御ハ

九月廿日

京　信藤

侍史

松陰

吉田松陰

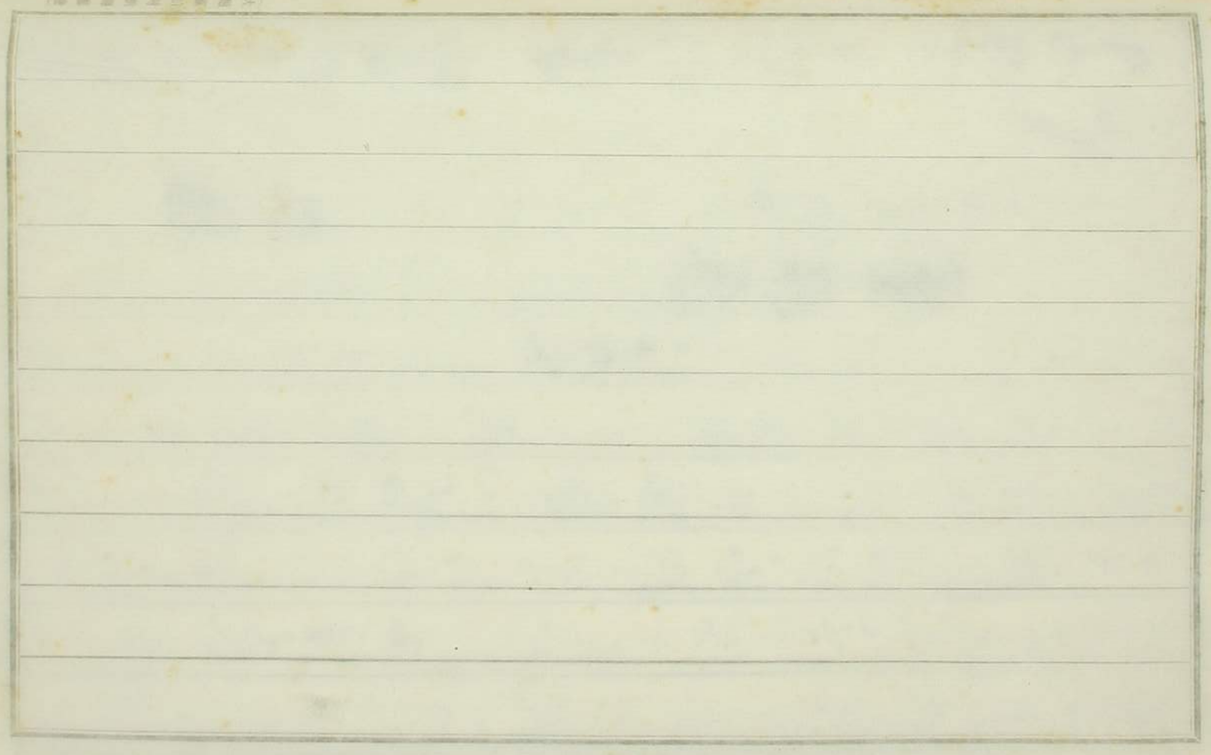
（大隈重信侯傳編纂會）

五代才助様

略儀一筆奉上候御彼地御不
沙汰申上候御承知之通り御不
迄一覧被下度略儀ながら
論旨之通り成不申候得共
キ及復書候ハ
ゆゑ
日
決定
成何

明治文書資料刊行会

[illegible]

[illegible]

[illegible]